

桃山学院中学校高等学校 PTA「キャリア教育講演会」にて  
JR 西日本・今井執行役員人事部長、帝人・上野山エンジニアリング本部企画管理部長が講演

(2013年12月14日)

桃山学院中学校高等学校 PTA が主催し、12月14日(土)に同校聖アンデレ館にて「キャリア教育講演会」が開催され、関西キャリア教育支援協議会から西日本旅客鉄道(株)、帝人(株)に講師をおつとめいただいた。参加者は約100名で、同校のPTAの父母の皆さんを中心に中高の先生方も多く参加されていた。

当日は、冒頭、同校PTAを代表して辰巳恭子教養委員長が「これまでは予備校の方などに来てもらい大学進学、受験勉強のことなどの説明会をしていたが、今回初めて企業の方から直接“求める人材像”を聞くことのできる機会を持てた」旨を開会挨拶し、同校常務理事・校長の温井(ヌイ)史朗氏も「今日は企業の人事担当の方とPTA、先生がともに語り合える非常に貴重な場である」と挨拶をした。



まず、西日本旅客鉄道(株)執行役員人事部長の今井克己氏が「企業の求める人材とは？」と題し講演した。今井氏は、最初に、2府16県にわたる広い範囲で150社を越える関係会社とともに鉄道を中心にいろいろな分野で事業活動をしていること、中期経営計画に掲げた経営目標と戦略を堅持しつつ新たに“地域との共生”“技術による変革”“現場起点の考動”の3つの戦略で経営ビジョンの実現に向けてJR西日本グループを挙げて全力で取り組んでいると述べた。そして、JR西日本が求める人材像として、責任感、チャレンジ精神、コミュニケーション能力のある人材、それらに加えて統率力とバラエティ溢れる人材を求めていることを強調し、同社の人事制度、採用戦略、人材育成などの概要を説明した。

次に、「私の仕事とキャリア」と題して、まず帝人(株)エンジニアリング本部企画管理部長の上野山雅樹氏は、これまでの人生のトピックスとして浪人時代に得難い経験をしたこと、大学院進学を決意したこと、海外勤務を希望し続け実現し多くのことを学んだこと、エンジニアとして先駆的な技術を追求できたことと致命的なミスをしたことなどをあげ、これらのことを経て今日の自分があると話した。また、大学進学や就職の前に心がけた方がいいこととして、できることではなく「やりたいこと」を決める、考える癖をつける、恵まれ過ぎない、自分の五感を使って実体験する、しっかり授業に出てとにかく聞く、コミュニケーション力を磨くことをあげた。





最期に、同校 PTA が直接招いた三井住友海上火災保険(株)関西企業営業第三部課長代理の松本 潤氏は、「私の仕事とキャリア」の中で、仕事をする上で大切にしていることとして①お客様の期待以上のことをする、②相手を好きになる、③プアなイノベーションより優れたイミテーションを、④すべての期限を守る、⑤嫌なことほど先にやる、をあげ、自分のモチベーションを高めるためにも心がけていると述べた。

以 上